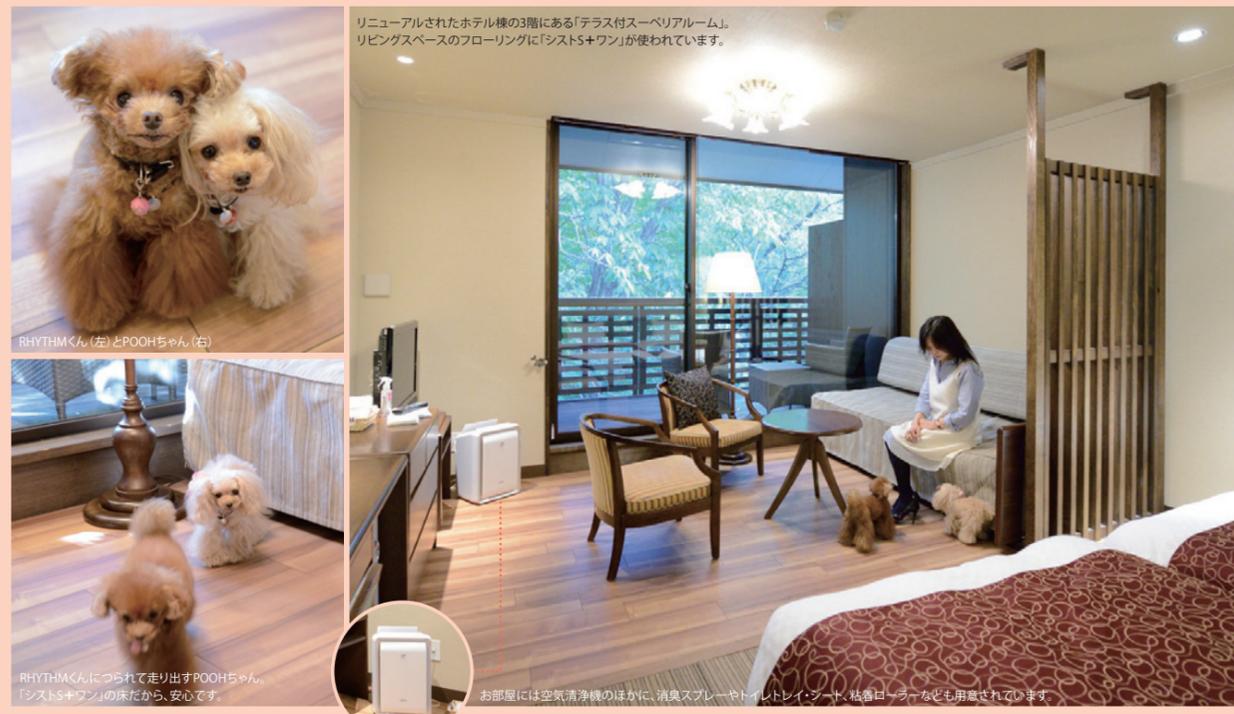


愛犬と安全・健康・快適に暮らす住まいの工夫

大切な家族だから、さまざまな暮らしのシチュエーションにあわせて愛犬のことを考えてほしい…。住まいに関する愛犬仕様の導入は、個人住宅だけでなく事業用の物件にもその考え方が広がっています。今回はペットと泊まれる宿のゲストルームと、ペット対応賃貸アパートの例について紹介します。

ホテルのゲストルームにみる「愛犬仕様」の工夫

Guest room



リニューアルされたホテル棟の3階にある「テラス付スーペリアルーム」。リビングスペースのフローリングに「シストS+ワン」が使われています。

RHYTHMくん(左)とPOOHちゃん(右)

RHYTHMくんにつられて走り出すPOOHちゃん。「シストS+ワン」の床だから、安心です。

お部屋には空気清浄機のほかに、消臭スプレーやトイレレインコート、粘着ローラーなども用意されています。

ペット向け床材(シストS+ワン)を採用した、「高山わんわんパラダイス」のお部屋は想像以上でした!

ワンちゃんへの配慮が行き届いた「高山わんわんパラダイスホテル」。「でも、お部屋は大丈夫かしら」という心配が少しありました。女の子のPOOHちゃんは、もともと股関節が外側へ開いていることと、体力も筋力も弱いため、フローリングの上を歩くのは大変困難で、自らフローリングを歩くことはありません。なので自宅はフローリングですが、滑り止めのためにお部屋全体にタイルカーペットを敷き詰めています。だから、体調が悪くて吐いたりすると、タイルカーペットのお洗濯をしなければならずけっこう大変なんです。だから、今回取材のお話があった時、一番興味を持ったのが、ホテルのお部屋の床。ちなみに、今まで

泊ったホテルでPOOHちゃんは、フローリングでは足が滑るため、そこには行かない(行けない)という状態。ひどい時はトイレシートの上から出られないこともあったので、同じことにならないかと不安でした。ところが驚きです!今回宿泊したお部屋のフローリング「シストS+ワン」では、最初は戸惑っていたものの、歩けると気が付いてからは普通にスタスタ!しかも、翌日の朝に

は、走っているPOOHちゃんを発見!本当に驚きました。RHYTHMくんはいつも以上に大はしゃぎ。滑りが明らかに違うので安心して見ることができました。今回泊まった部屋も、「シストS+ワン」をリビングスペースだけでなく、部屋全体に敷いたら良いと思います。何かあっても拭き掃除だけで済むし、自宅のフローリングも次の家では「シストS+ワン」にしてみたいと思いました。

溝口 裕美さん

愛犬家プロガーとして大活躍。6年前にPOOHちゃんとの出会い、2年後に甥っ子のRHYTHMくんが家族に加わる。日本全国のドッグカフェやペットと泊まれる宿を求めてPOOHちゃん・RHYTHMくんと一緒に北から南まで飛び回る毎日です。
【ブログ】prismFamilia(ティークップブードルPOOHちゃんの記事②)
<http://ameblo.jp/0222pooh>



取材協力 / 高山わんわんパラダイスホテル(TEL:0577-79-2231)

※シストS+ワンが採用されている部屋は、ホテル棟の3階客室のみになります。※滑りにくさには個体差が出る場合があります。

事業用物件にみる「愛犬仕様」の工夫

Apartment



リビングには、傷と汚れ対策として「腰壁」を設置しました。

テラスはリビングからワンちゃんが出てもいいようにプレートの壁で囲んでいます。

玄関のドア横にはリードフックがあります。

2階の各寝室は、腰高の位置に見切り材を設置。ワンちゃんが汚したり傷つけたりしても、下部だけの張り替えで済むよう、退去時のコスト増を抑えた仕様です。

敷地内には、入居者が自由に使える足洗い場(2ヶ所)を設置しています。

ベットのドアは、出入りを制限したいときはカバーでクローズできます。

高まる「ペット共生賃貸」需要。決め手は飼い主とペットとの暮らしの快適仕様。

愛 知県豊明市に完成した2階建て3棟全13戸の賃貸物件。すべてがペット対応仕様で、ペット共生賃貸としては比較的大きな規模です。敷地内には入居者が自由に使える足洗い場が2ヶ所設置されており、玄関のドア横にはリードフック。室内にもペットドアを採用し、ワンちゃんの行動に配慮しつつ、留守番などで出入りを制限し



2階建て3棟全13戸。ペット共生賃貸としては比較的大きな規模です。

たいときにはカバーでクローズできます。リビングには、傷・汚れに強いペット向けの「腰壁」を設置し、体を擦って付く汚れやひっかき傷を防止。掃除が簡単で、入居者の負担も軽減できます。2階の各寝室には、板(腰板)ではなくクロスを全面に採用していますが、腰高の位置に見切り材を設置。ワンちゃんが汚したり傷つけたりしても、下部だけの張り替えで済むよう、退去時のコスト増を抑えた仕様になっています。また、テラスはワンちゃんが出てもいいようプレートの壁で囲み、飛び出しを防止するとともに他の犬からの視線も遮っています。この物件の計画にあたり施主様は、駅から少し離れていることを付加価値でカバーし

ようと「ペット共生賃貸」の形態を選択されました。現在、モデルルーム1室を除きすべて満室状態となり、ペット共生賃貸の需要の高さを裏付ける結果となりました。愛知県は犬の登録頭数が全国1位。引き続き需要の伸びが予想される中、この物件のように、いかにペットとの暮らしに配慮した仕様ができるかが、選ばれるペット共生賃貸のポイントといえそうです。

住友林業株式会社
住宅事業本部
名古屋中央支店
フォレストメゾン担当
松下 祐樹さん



取材協力 / 住友林業株式会社 住宅事業本部 名古屋中央支店(TEL:052-979-7140)